

議会だより



きんちゅう
沖縄県金武町

きんてん



金武町イメージキャラクター
金武タームくん

第151号

発行：平成29年12月1日



* 特産品シリーズ * 菊の植付け時期と収穫時期(右下)

主な内容

- 一般質問 2～13P
仲村広美／安富信武／池原政文／伊芸政男／吉野 潤／前田健次
伊藝直樹／伊藝高志／外間慎仁／仲間トム／崎浜秀幸／大城一之
平成29年第3回（9月）定例会・第4回（10月）臨時会等 14～19P
町村議会議員研修会、傍聴案内 20P

◆発行：金武町議会 ◆編集：議会広報調査特別委員会

〒904-1292 沖縄県国頭郡金武町字金武1番地 NTT098-968-2292 有線電話 8-2292
金武町公式ホームページ <http://www.town.kin.okinawa.jp> 金武町議会メールアドレス gikai@town.kin.okinawa.jp

きんてん（均霑）とは…「^{ひと}均しく^{うるお}霑う」という意味で町民が等しく行政の恩恵を受けられるよう町民代表の議決機関の使命を踏まえて昭和55年の発行第1号の際に命名しました

平成29年第3回(9月)定例会

一般質問

(※質問順に掲載し、質問・答弁は要約)



仲村 広美 議員

「こども支援課」設置

仲村議員 これまでのことも支援課設置へ向けた取り組み状況は。

仲間一町長 これまで機構改革検討委員会等で平成23年度から協議を重ねてきており、平成27年度からは本格的に制度や事務等、関係課を中心に協議してきた。本年度においても、幼稚園・保育所職員の中で活発な意見交換、勉強会を開催し、教育委員会の中でも話し合いが行われている。

仲村議員 今後の課題と対応状況は。

町長 今後は、人事配置や規則・規定等の整備について、スムーズな移行ができるよう取り組んでいく。

仲村議員 金武こども園、嘉芸こども園の夏休みの給食は、どのようなになるのか。

仲間賢保健福祉課長

基本的には2号認定、3号認定の保育に欠ける子というのは保育所という扱いになっており、夏休みという規定がないので、これまでどおり給食が出ることになる。3歳から5歳の1割程度弱の子どもが1号認定の幼稚園児に該当すると見込んでいる。その子たちについて、夏休みという規定を設けるが、一時預かり等というのは保護者の意思

によって選択ができることになるので、その期間も給食は出る。施設で基本的には自園調理というのを基本としている。認定こども園に移管した場合でも、自園調理を実施して給食を提供していくことで、調整を進めている。

農業集落排水事業

仲村議員 並里・金武、伊芸、屋嘉の接続率は。

町長 平成29年8月末現在で平成28年度に一部供給開始をしている並里・金武地区が計画件数3220件に対し、接続件数142件で接続率が4・4%、平成24年度に供用開始した屋嘉地区が計画件数700件に対し、接続件数263件で接続率が37・6%、平成11年度に供用開始した伊芸地区は、計画件数332件に対し、接続件数350件で接続率が105・4%となっている。

仲村議員 今までの説明回数と内容は。

町長 これまでの説明回数については、平成27年度に金武区民を対象に2回、並里区民を対象に2回、屋嘉区民を対象に1回、各公民館及び中央公民館で事業説明会を行っている。

説明内容は事業の目的、使用料金や宅内配管接続に関する説明、使用時期等を説明している。また、平成28年度11月から平成29年3月までの間、金武区、並里区、屋嘉区の3地区公民館に毎月相談窓口を設置し個別相談対応を行い、平成28年12月には屋嘉地区及び金武区の行政委員会において宅内配管接続に関する説明を行った。広報においては、平成27年度は12月号、平成28年度は、6月号、8月号、11月号から3月号、今年度は4月号で接続推進に関する記事

掲載している。今年度から事業実施した宅内配管費用の一部を補助する効果促進事業補助金についても、今年度5月号での周知や行政懇談会で説明を行っている。

仲村議員 今後の進め方は。

町長 今年度から実施している効果促進事業補助金の活用を引き続き広報等での周知、各区への相談窓口の設置を行っていく。また下水道事業のメリットや使用上の注意、使用料金を掲載したチラシの配布を行い、下水道接続促進に取り組んで行く。



並里・金武地区のマンホールの蓋



安富 信武 議員

交通アクセス

安富議員 国道329号線のうるま市石川以北の4車線化について町の考えは。

仲間一町長 4車線道路

の整備については、北部国道事務所に行政懇談会等で要望をしているが、本町における交通渋滞はまだまだ解消されておらず、今後も引き続き北部東海岸の観光振興及び地域活性化や交通渋滞の解消に向けて、北部国道事務所と意見交換をしていきたいと考えている。

安富議員 県道104号線

とのアクセス路、スマートインターチェンジについて。

町長

町では、渋滞の緩和

和や地域活性化を目的に、県道104号線沿いのキャンプ・ハンセン第3ゲート付近にスマートインターの整備を検討してきた。これまで構成されている沖縄振興拡大会議での要請及び外務大臣や防衛副大臣へ早期設置に向けて要請をしている。また、今年5月には、北部地域の道路網の整備促進並びに離島架橋の早期実現に向けた決起大会に参加し、その後の北部市町村会とともに、国の関係機関及び沖縄担当大臣へ要請を行って

いる。今後も町民の不便の解消が図られるよう、引き続き関係機関へ設置の要請を行う。

安富議員

金武インターチェンジ出入口口道路と渡慶

頭原北側を通り、キャンプ・ハンセン第1ゲートに

つなぐ軍民共用道路の整備提案について、町の考えは。

町長

本町議会で、沖縄

県の道路網の整備促進に関する意見書として決議されたことは認識しているが、現時点で国からの回答はなく町は、渋滞緩和や地域活性化を図るため、県道104号線に整備するスマートインターチェンジ設置に向けて、引き続き関係機関への設置の要請を行う。



車線が減少する国道 329 号線

人材育成

安富議員

商工観光課の新

設に関して、外部からの専門職の招聘はあるか。町外の観光組織・団体との連携、

情報交換の方法については。

町長

商工観光課につい

ては、課の人員配置については、課の人員配置について外部からの専門職を招聘することは現段階では予定はない。

町外の観光組織、団体との連携、情報交換については、北部市町村の観光入域客数を増やし、観光周遊ルートの調査、開発を行うため、これまで沖縄県を始め、

沖縄県観光コンベンションビューロー、北部12市町村の行政及び観光協会との連携、情報交換を行っている。昨年は恩納村、宜野座村と連携して、女子硬式野球日本代表合宿も受け入れており、今後も町外の関係機関と連携、情報交換を行いながら町の観光産業の発展に努めていく。

安富議員

観光資源調査及

び開発に関すること、観光関係団体の育成指導に関する

ことについて、どのような活動を想定するか。

町長

観光資源調査及び

開発に関することについては、これまで観光ニーズを把握するための金武町観光資源実態調査、やんばる観光連携促進事業での恩納村、宜野座村と連携した地域の観光資源の調査、開発、ICT観光地域づくり事業での入域情報の分析等を実施している。

観光関係団体の育成指導に関することについては、観光協会及びネイチャーみらい館など、地域の観光関係団体等へ連携をとりながら地域活性化事業、誘客イベント、関連施設の指定管理等の実施を通して組織強化を図っていく。

今後は、スポーツ施設、ホテル、温泉等を活用したスポーツ及び医療ツーリズムの調査、開発を始め、適宜調査事業や人材育成等を実施していく。



池原 政文 議員

町道伊芸13号線改修工事

池原議員 町道伊芸13号線は大雨になると増水した側溝から水があふれ出て、周辺の畑に浸水し、農作物に被害を及ぼす原因になっている。実施予定の改修工事と合わせて雨水処理対策をどのように計画されているか。

仲間一町長 隣接する私有地に土を入れたため、降雨時には雨水がはけず側溝からあふれ出し、畑が浸水している状況である。町では本定例会に補正予算を計上し、雨水対策を含めた町道伊芸13号線整備工事として実施していく。その内容



雨が降ったあとの町道伊芸13号

は、6月の大雨で被害が確認された箇所を優先的に実施し、町道伊芸13号線から美徳川へ雨水処理を施すとともに、現在の4メートルの幅員を5メートルとし、両側に側溝を整備する計画である。残りの箇所は次年度以降に実施していく予定となっている。

池原議員 土を埋めたから浸水したのか、他にも原因はあるのか。

宝正徳建設課長 今回、個人が畑に土を埋めたため、水が処理できず浸水した状況になっている。

パークゴルフ場の整備

池原議員 施設への幹線道路の計画と課題の有無は。

町長 事業進捗状況については、平成29年8月に実施設計を発注している。工事については、平成30年度に実施予定となっている。

福花原方面からパークゴルフ場整備予定地までのアクセス道路は一部幅員が狭く、車両や歩行者の通行に支障が出る箇所があり、施設周辺の計画で拡幅工事等を行い、課題解消に努めていく。

池原議員 農道を通ってしまふと農家の人にとって大変な迷惑である。農道を通らないようにすることは考えているか。

金城司企画課長 沖縄総合事務局開発部との行政懇談会の中でブルー・ビーチ側からの進入路を以前要望したことがある。その道が仮にできたら中学校の前を通る道路から進入が可能という形になる。

通る道路から進入が可能という形になる。

池原議員 このアクセス道路の敷地は軍用地内になるのか。

企画課長 軍用地の近くを通るが、軍用地に触らずに道路の整備ということは可能だと考えている。

池原議員 パークゴルフ場予定地の中には個人所有地もあり、これを並里区が借りて町に提供していくと聞いたが事実か。

企画課長 並里区の土地と個人1名の土地があるが、その区有地に関しては区議会の同意を得て、町にこれを使用させてよいという報告があった。

また、個人所有地についても並里区がその個人と調整をし、その使用の同意を得ているという報告があった。

交通渋滞の緩和策

池原議員 国道329号線の屋嘉・浜田間では、通勤・通学、帰宅の時間帯に交通渋滞が起き町民から苦情が出ている。また、キャンプ・ハンセン内で催されるイベントにより渋滞が起り、町民生活に影響を及ぼしている。町ができる渋滞緩和策はないか。

町長 町は渋滞緩和策として、平成30年度末に全面開通を予定している国道バイパスやこれまで鉄軌道北部東ルート要望している。さらに軍人、軍属や地域住民に沖縄自動車道の活用を促すため県道104号線沿いのキャンプ・ハンセン第3ゲート付近にスマートインターチェンジの設置を国や県に要請している。

平成29年度施政方針



伊芸 政男 議員

伊芸議員 金武レッド・ビーチ訓練場については、特定防衛施設周辺整備調整交付金が交付されるよう港湾指定に向けた要請を行い、交付金が増額されるよう取り組むと示しているが、現在国から受けている交付金の名称は。また今後の具体的な取り組みは。

伊芸議員 金武レッド・ビーチ訓練場は面積が1万4000平米、宅地及び宅地見込みの地目種別となっており、地主数は42名で昭和37年より訓練場として使用されている。

現在、交付金として国有

仲間一町長 金武レッド・ビーチ訓練場は面積が1万4000平米、宅地及び宅地見込みの地目種別となっており、地主数は42名で昭和37年より訓練場として使用されている。

レッド・ビーチ訓練場

提供施設等所在市町村助成交付金及び施設等所在市町村調整交付金が交付されている。

金武レッド・ビーチ訓練場の港湾指定については、防衛省等へ要請をしているところであり、今後も引き続き港湾指定ができるよう要請をしていく。

うち、飛行場、演習場、港湾、大規模な弾薬庫及び土地を貸している市町村の面積の占める割合の米軍施設に充てられるものである。

現在、港湾ではなく、一般の演習場であり、指定を受けられない。

伊芸議員 金武町雇用対策事業において、ギンバル訓練場跡地へ進出する企業と連携しながら雇用促進と人材育成を支援していくと示しているが、進出する企業への取り組みは。

町長 ギンバル訓練場跡地へ進出する企業の中で、ふるさとづくり整備事業に係る医療リハビリ関連施設への取り組みについては、沖縄振興特別推進交付金事業を活用し、金武町雇用対策事業を実施している。その実績については、平成25年度から平成29年度までの5年間で30名の雇用となっている。内容は、進出する

町長 ギンバル訓練場跡地へ進出する企業の中で、ふるさとづくり整備事業に係る医療リハビリ関連施設への取り組みについては、沖縄振興特別推進交付金事業を活用し、金武町雇用対策事業を実施している。その実績については、平成25年度から平成29年度までの5年間で30名の雇用となっている。内容は、進出する

企業と連携し、就職希望者の雇用と研修を企業に委託し、その後も引き続き正職員として雇用する条件となっている。

また、ホテル関連の職種については、フロント、経理などを中心に約60種ある。金武町就活支援センターにおいては、それらの職種に応じた取り組みとして就職に必要な資格、技能の習得等の支援と町内の小中学生を対象としたキャリア教育を実施している。今後も進出する企業に対しても就活支援センターと連携しながら、雇用促進と人材育成に取り組んでいく。

伊芸議員 金武町版総合戦略は目標年度が2019年度となっている。ギンバル訓練場跡地への進出企業に対して雇用を促進するため町民を雇用した場合の研修費等を支援するところがあるが、この具体的な内容は。

安富祖勸産業振興課長 雇用対策事業を通して、人件費と企業の関連業務に携わっていない町民も雇用されやすいように人件費分もあわせてその委託業務に入れて、町民の優先雇用をやりやすいようにする事業である。

安富祖勸産業振興課長

伊芸議員 企業誘致を推進するため、専門家による調査、分析を行うとともに誘致の方針の検討と誘致活動を実施するとなっているが、誘致活動の内容は。

産業振興課長 企業誘致全般について、産業振興課でうるま市金武町企業立地促進協議会の負担金を出して事業をしており、企業誘致のノウハウを持っているところ研修したり、関連企業を招聘して町のPRも含めてやっているのが、この企業誘致の事業である。

伊芸議員 金武町版総合戦略は目標年度が2019年度となっている。ギンバル訓練場跡地への進出企業に対して雇用を促進するため町民を雇用した場合の研修費等を支援するところがあるが、この具体的な内容は。

伊芸議員 金武町版総合戦略は目標年度が2019年度となっている。ギンバル訓練場跡地への進出企業に対して雇用を促進するため町民を雇用した場合の研修費等を支援するところがあるが、この具体的な内容は。

伊芸議員 金武町版総合戦略は目標年度が2019年度となっている。ギンバル訓練場跡地への進出企業に対して雇用を促進するため町民を雇用した場合の研修費等を支援するところがあるが、この具体的な内容は。

伊芸議員 金武町版総合戦略は目標年度が2019年度となっている。ギンバル訓練場跡地への進出企業に対して雇用を促進するため町民を雇用した場合の研修費等を支援するところがあるが、この具体的な内容は。

5

農業振興



吉野潤 議員

吉野議員 今日まで国の補助事業として位置づけられていた農業青年給付金が農業競争力強化支援法によって農業次世代人材投資資金と改められ、その内容も大幅に改善されているが、現在給付金制度を利用しての方々への告知、説明はなされているのか。

仲間一町長 農業次世代人材投資事業については、これまでの給付金制度に加え新規就農者の経営技術、営農資金、農地のそれぞれに対応するサポート体制を強化することなどが見直し、拡充されている。町は本定

例会でサポート体制強化に向けた予算を計上しており、着実な支援体制構築を図っていく。給付制度を利用している方々への説明は、今後行うこととしている。

吉野議員 流通制度の見直しにおいて、生産者がより高い利益を得られるように中間流通などを見直し、生産者が直売しやすいようなシステムを構築するところがあるが、そのことを踏まえた町の対応策はあるか。

町長 町の農産物の流通については、農協、中央卸売市場、生産組合、相対売り等の出荷がなされている。国は、現状の農産物量の見直しを図り、流通業者の取引条件等を見える化し、生産者が有利な出荷先を比較、検討できるシステムを開発して多様な流通ルートから選択できる環境整備を図るなどの流通全体の構造改革を行うこととしている。

吉野議員 地域の農産物を守る意味も含めた地理的表示(GI)保護制度を活用した特産品のブランド化に取り組まなければならないが、指定産地などの問題も含めた町の取り組みは。

町長 特定農林水産物等の名称の保護に関する法律に基づく地理的表示制度は、農林水産物食品等の名称で、当該産品の産地を特定でき、産品の品質等の確立した特性が当該産地と結びついていることというものを特定できるものとしている。その認定手続については、生産者等がその産品が満たすべき品質の基準を作成するほか、生産工程管理規定を定めた上で申請し、農林水産大臣が審査することになる。同制度の活用については今後町内での制度説明会、勉強会、情報提供等、専門家を招聘して生産者等の最適な支援策を検討していく。

観光振興

吉野議員 観光とスポーツを融合させたスポーツツーリズムへの町の考えは。

町長 スポーツツーリズムについては、スポーツを「見る」・「する」・「支える」ための旅行そのものや周辺地域観光への波及効果などが注目され、昨今、沖縄県においても推進されている状況である。

平成27年度の沖縄県内における合宿、キャンプ、自主トレ受け入れ実績は351件、1万1730名となっている。

本町ではこれまで東北楽天ゴールデンイーグルス、韓国起亜タイガースや、コロンビアレーザを始め、浦和レッズダイアモンスも今年2月に初めて金武町でキャンプを実施するなど、プロ、アマを問わず多くの選手が町のスポーツ施設を活用している。

用している。

吉野議員 町内外の民間企業と連携を取り町の魅力を内外にアピールして観光客の誘致を図るべきだと思うが、町の考えは。

町長 町内外の民間企業との連携については、金武町観光協会、沖縄県コンベンションビューロー、旅行会社等と共同でイベントを実施しており、町の特産品、観光情報を始めタコライス、チーイリチャー、田芋料理等の食文化の発信や、観光地等の案内を行い、誘客を図っている。



キャンプの様子

児童館設置



前田 健次 議員

前田議員 本町に児童館を設置する考えはあるか。

仲間一町長 各区に設置

された公民館は、ホール又は体育館及び図書等を併設した施設となっており、子どもから高齢者まで地域住民の交流の場になっている。児童に関する活動においても、各区子ども会の拠点は各区公民館となっており、各区公民館で実施している放課後児童健全育成事業で、活動に必要なスペースを十分確保し、保護者の送迎の利便性や地域での見守りの観点から公民館が児童福祉法に規定する地域で

児童に健全な遊びを与え、健康を増進し、または情操を豊かにすることを目的とする児童館の役割を十分に発揮していると考えている。

一部の地域では放課後児童育成授業を希望する児童数が多く、児童以外の地域住民の公民館利用に影響が出ている状況があることから、児童館建設の要請を受けているところではあるが、児童が利用を始めるまでの平日午前の利用のあり方や、建設費用、運営主体と解決すべき課題があることから、これらを総合的に検討していきたい。

悪臭防止法制定

前田議員 悪臭防止法では、

県知事が市町村長の意見を聞いて、規制地域を指定することになっている。町は意見を聞かれたことがあるか。あるならどのような意

見を述べたのか。なければその理由はなぜか。

町長 町では沖縄県との悪臭防止法に伴う金武町の地域指定について平成28年度に調整し、畜産農家から発生する臭気状況を説明した。

県から地域指定に必要な臭気の測定調査等を計画し、臭気発生時の調査結果に基づき畜産農家の臭気改善指導に努めるよう指導を受けた。

平成29年3月時点で臭気度が改善されているため金武町屋嘉地域の臭気指定は検討中であると県に報告をしている。臭気改善が見込まれない場合は悪臭防止法に基づく改善指導及び臭気測定結果をもとに、県と再度調整を図りながら、臭気規制地域指定を視野に、さらなる畜産農家の臭気改善に努めていく。

前田議員 町で特に留意す

る地域はあるか。町内で悪臭問題が発生していると認識しているか。

町長 近年は町道や農道等の整備により、住宅と畜産団地、個人牛舎が隣接し、たびたび臭気問題が発生している。特に、屋嘉地域では屋嘉第2団地周辺における新興住宅の発展地域や老人保健福祉施設に集合住宅、個人住宅が増加している。

平成26年と平成27年に豚舎や牛舎から発生する臭気についての対策要請や陳情、苦情等が直接町にあった。

屋嘉地内の生活環境整備

前田議員 屋嘉海岸背後地整備と屋嘉根屋公園整備の進捗状況は。

町長 屋嘉海岸背後地は国有地で県が管理している。

海岸保全区域及び港湾隣接地域の指定や、個人住宅の敷地の一部が越境して建設

されている箇所があり、整備は厳しいとの事だったが、県と協議を重ね、占用許可を受けての整備は可能との回答を受け手続を行った。平成29年9月に県から占用許可を受け、平成30年度以降の整備に向けて取り組む。屋嘉根屋公園整備については、平成27年度に遊具の選定やトイレ配置の検討しており、引き続き屋嘉区と調整を図り、区民のニーズに応えられるよう平成30年度整備に向けて取り組む。



屋嘉根屋公園

その他の質問事項
金武町音頭(仮題)策定



伊藝 直樹 議員

中川区町営団地

伊藝議員 平成28年12月の定例会で町営団地を国に要請していると答弁があった。進捗状況は。

仲間一町長 町有地を利用した町営団地は、中川区に整備を計画しており、人口増加に向けた定住条件の整備及び若者の定住を目的として、北の連携促進特別振興対策特定開発事業推進費を活用し、今年度の採択に向けて国及び関係機関と調整をしている。

伊藝議員 場所と入居戸数は。

宝正徳建設課長 3階建ての中層耐火構造、12戸の

予定で、1戸当たりの面積が85・5㎡の予定で国と調整している。場所は中川小学校から恩納村向けにある儀間商店側、手前の左側の角あたり、福祉住宅跡地になる。



団地予定地

伊藝議員 今後、中川区に墓地の整備計画はあるのか。

町長 町では墓地基本計画の方針を平成23年度に策定案として示している。中川区域は墓地が比較的集中している飛留喜田原（ヒルキタバル）地域とギンバル地域を指定案としている。平成29年6月の中川区行政

懇談会で、墓地用地指定の要望があった。町では、墓地関連事業者に呼びかけをし、墓地整備と管理が可能であれば地主説明会を考えている。

伊藝議員 ギンバル地区の

町道に街路樹が植栽されているが、枯れている箇所が多く見受けられる。どのような対処を考えているか。

町長 ギンバル地区の町道沿いの植栽、ビロウ（クバ）297本、ヤエヤマヤシ262本植栽した。その中で、台風や害虫の被害によりビロウが2本、ヤエヤマヤシが80本枯れており、撤去している。今後の対処については、生育管理を徹底するとともに、枯れて撤去をした箇所については、塩害や害虫に強い樹木を選定し、順次植えていく。

農作物の農薬防除

伊藝議員 今年は高温で病

害虫が発生し、特にサトウキビの被害が多く見られ、ほかの農作物にも影響が出ている。

被害拡大しないための対策及び指導はどのようにしているか。

町長 町はこれまでJA金武支店等と連携のもと、適宜サトウキビ、タイモ、水稻の一斉防除を実施している。

本年産のサトウキビ防除は、前年度の収穫期の長期化に伴う生育のばらつきや防除期の梅雨入り等の要因から実施が遅れているが、9月中にバッタやメイ虫類の共同防除を実施する予定となっている。

一方、被害防止に係る栽培指導は、適宜関係機関の協力のもと実施している。今後も引き続き害虫害獣対

策を関係機関と連携して実施していく。

伊藝議員 サトウキビの防

除は、害虫が卵からふ化した後の5月のほうが最適ということだが。

安富祖勸産業振興課長

通常であれば5月から6月にかけて共同防除を実施しているところである。5月頃、虫が弱齢幼虫時期に防除するのが効果があるということ、県のほうの指針や資料で明確にうたわれている。

伊藝議員 田芋畑を見ると、

結構葉っぱに被害があり、茎だけ残っている状況がある。その辺は町が耕作者の方に会って、被害を受けているから早めに病害虫防除した方がいいと指導する必要があると考えるが。

産業振興課長 農家へ講習

会等で行っているが現場も回りながら農家に直接声をかけて対策していく。



伊藝 高志 議員

沖縄本島鉄軌道導入計画

伊藝議員 県では、糸満、名護に鉄軌道の導入へ向けての計画があり、鉄軌道が金武町を通るか否かで、町の将来に大きな影響があると思われるが町として鉄軌道構想についてどこまで把握しているのか。

仲間一町長 鉄軌道構想は、住民生活の利便性の向上、北部地域と中南部地域との交通アクセスの向上、交通渋滞緩和、地域経済の自立、発展など県土構造の新たな骨格の形成を目的として、沖縄21世紀ビジョンに基づき、計画されているものである。

現在、鉄軌道構想には、A案の中部西・北部西ルート、B案の中部西・北部東ルート、C案の中部東・北部西ルート、D案の中部東・北部東ルートとともに、B案、C案及びD案の派生案を含め7案があり、そのうち金武町を通過する案が4案ある。

伊藝議員 町として鉄軌道のもつ将来性（経済的な価値と展望）をどう考えているのか。

町長 町は、近年、スポーツ施設や観光施設が整備され、スポーツ合宿や体験学習の受け入れが盛んになり、人の往来が活発になっている。鉄軌道の導入は、住民生活の利便性の向上を図るとともに、観光産業等の発展及び通勤時間帯における中南部地域の渋滞緩和にも寄与されることが見込まれることから、経済的にも有効な手段と考えている。

アカシ海岸のパークゴルフ場計画

伊藝議員 予算のめどはついたか。

町長 パークゴルフ場は、沖縄振興特別推進交付金を活用して整備していく。

伊藝議員 地権者の同意は得られたか。

町長 整備予定地の地権者は並里区及び1名の個人となっている。並里区有地の使用については、並里区議会の同意を得ており、個人有地の使用についても同意を得ている。

伊藝議員 地権者1名個人がいるということだが、並里区が説得をして同意を得たのか。役場が説得して同意を得たのか。

金城司企画課長 地権者の方については、並里区の方から同意を得ている。

伊藝議員 賃料を区の方が個人と契約をして、全体の

土地に対して責任を持って町に対して提供をするのか。

企画課長 パークゴルフ場

ができたなら、指定管理を並里区と締結する予定である。整備をする前に区と覚書を交わしており、この土地は区が確保して町の方に提供する。その土地について施設を整備してもらえるかということがあったので、土地に関しては並里区が全て無償で町に提供する形である。

伊藝議員 着工はいつからか。

町長 今年8月に実施設計を発注し、工事は平成30年度を予定している。

伊藝議員 自然災害で、施設に大きなダメージがあった時は、復旧は役場が行うのか。

町長 自然災害等による施設の修繕については、今後指定管理協定書で決めていくことになる。

しまくとうばの普及推進

伊藝議員 普及推進に向けての役場の取り組みは。

町長 しまくとうばの普及推進に向けての役場の取り組みとしては、町全体向けに有線放送で毎日午後3時にうちなーぐちラジオ体操を流している。また、職員向けには、新採用職員研修において、基本的な挨拶などをしまくとうばで行った、過去には教育委員会が主催するしまくとうば大会に職員を出演させるなど、しまくとうばに触れる機会を増やす取り組みを行ってきた。

また、午後6時半に有線放送で行っている帰宅を促す呼びかけ放送を9月からしまくとうばで放送する予定である。



外間 慎仁 議員

金武町主要事業（4大プロジェクト）の経過と経済、雇用効果

外間議員 金武火力発電所建設に伴い、町内の雇用効果、人数は何名か。雇用形態はどのような形態か。また、金武火力発電所建設に伴い、町にどのような経済効果をもたらしているか。

仲間一町長 金武火力発電所建設に伴う町内雇用及び経済効果は、可能な限り地元業者を優先的に発注または地元の方を最優先に雇用するなど、受注業者が一体となって取り組んだ結果、建設工事にかかった地元業者は平成14年度金武町建

設業者名簿の登録業者36社中約20社と報告を受けた。

また、建設工事にかかる人件費15・5億円、物品購入11億円等の支払い総額が約40億円に上り、町内に潤いをもたらされたと沖縄電力から報告を受けた。

外間議員 金武バイパス開通により、現在の国道329号線、商店街などに与える影響が懸念されているが、開通に伴う予想シミュレーションはできているか。

町長 金武バイパス開通後の既存商店街への影響については、通過型購買需要の低下が予想される。その対策は、地域に密着した魅力ある商店街の形成を促進するため、経営安定化や体質改善の指導強化、空き店舗対策等を行い、金武バイパスの通行者、ギンバル地域に伴う施設や観光拠点からの購買需要を誘導する仕組みづくりが必要だと考える。

子どもの貧困対策（ひとり親世帯の支援）

外間議員 子育て世代包括支援センターの設置状況と支援員の連携は、どのような体制で行っているか。

町長 子育て世代包括支援センターは、母子保健等に関する保健センター機能と育児支援や保護者交流の場の提供など、地域子育て支援センター機能を有する子育て世代を支援する総合施設となる。

町では、町民の健康管理や健康相談等を実施する保健福祉センターを平成12年度に、子育てを支援する地域子育て支援センターを平成28年度より運用しており、隣接する両施設の連携により子育て世代包括支援センター機能の構築を図っているところである。

また、貧困対策支援員を含む各種専門支援員が連携

を図ることで、貧困対策に対応をしている。

外間議員 子どもの居場所づくりの設置状況と内容は、

町長 子どもの居場所づくりの設置状況は、各地区公民館で実施する放課後児童健全育成事業において、非課税世帯に属する児童31名の利用にかかる保育料を助成し、地域において児童に健全な放課後の遊びなどの場を提供している。また、貧困などにより食事の提供などの懸念や、保護者の養育能力に支援が必要な児童・生徒は、各地区公民館で実施している放課後児童健全育成事業とは別に子どもの居場所づくり事業を実施し、軽食の提供や学習支援、簡易な家事、生活の指導、パソコン講座などキャリア教育等を実施している。

仮称「里原条例」設置

外間議員 浦添市で海浜（イノー）を貴重な地域資源として保全しながら環境学習や観光振興に生かすために里山条例にちなんで里浜条例の素案が策定された。

町においてもマングローブ林を中心とする自然豊かな福花原という地域資源がある。この自然豊かな地域資源を未来の子ども達にも残していけるような条例設置、仮称「里原条例」設置が必要だと思いが、町の見解は。

町長 福花原におけるマングローブ林は観光資源として貴重な財産だが、近年土砂の堆積や老木化が原因とみられる立ち枯れや倒木がみられることから、マングローブ林の保全・保護に向け、有効な活動を実施していく。

金城司企画課長 倒木等の原因を調査し条例を制定した方が良いのか検討する。



仲間 トム 議員

高校三年生の 大学受験対策

仲間議員 町はこれまで、

大学受験生に対し、どのような取り組みをしてきたか。

比嘉貴一 教育長 町では

高校受験を控えた中学3年生は、平成22年度から受験生支援教室を開設して支援を行ってきた。

本町の高校生の進学先は、宜野座高校、石川高校を始め、中部地区を中心に十数校にわたっており、これらの高校生の多くは、帰宅時間が午後8時以降となることが多く、町としての支援事業を実施する際に実施時間、実施方法など多くの課

題があると考えられる。ま

た、高等学校教育が町教育委員会の所管外であること

から、これまで大学生受験生に対する取り組みを行ったことはない。

仲間議員 町から年間当た

りの大学進学率、専門学校への進学率は。

教育長 町では、高校卒業

後の大学等進学者に対して金武町育英資金の貸与を行っており、その申請から一部の大学と進学者の情報を得ているが、町全体の進学率は把握できていない。

仲間議員 今後町として大

学や専門学校へ進学する子供たちの合格率を向上させるため、支援策はないか。

教育長 近隣市町村等の取

り組み事例を参考に、金武町出身高校生の大学及び専門学校への進学希望者に対して、今後どのような支援が可能か検討していく。

大川児童公園 付近の路上駐車

仲間議員 大川児童公園周

辺は路上駐車が多いため危険である。今後の対応は。

仲間一町長 大川児童公

園は、週末や休日など町内外からたくさんの方が利用している。大川児童公園には2カ所の駐車場が整備されているが、路上駐車が多く、通行に支障をきたすなど危険な状況であると認識している。今後の対策としては、今年度内に大松下（ウフマシチャ）の広場に駐車区画線を引き、駐車場として誘導や、路上駐車をしないよう注意喚起の看板を設置していく。

仲間議員 大松下は、青年

会館前広場のことか。

金城司企画課長 現在、青

年会館の前の大松下広場に白線を引いて、駐車場を今年度中に設置する予定とし

ている。この駐車場に誘導

できれば、路上駐車も幾分は解消できるものと考えている。

仲間議員 駐車場はマイク

ロバスや乗用車等何台か。

新里朝治社会教育課長

駐車場の整備は、白線を引いて約10台で考えている。

仲間議員 公民館の玄関か

ら駐車場まで、青年会館と農協まで子ども達が歩けるような歩道のバリアフリーの幅ぐらいのカラー舗装で区切りをつけたら、安全に子ども達も老人も移動できるが、考えはあるか。

社会教育課長 並里区長と

一緒に現場を調査し、安全面も考慮しながら交通安全も地域社会で取り組む。



白線を引く予定の駐車場

国道からの案内板や 誘導板の設置

仲間議員 国道に大川児童

公園の案内板が設置できないか。

町長 国道からの案内板

や誘導板の設置は、ギンバル訓練場跡地に整備された医療施設やベースボールスタジアム等を始め、町内の名所や公共施設等について平成28年8月に開催された北部国道事務所との行政懇談会において要望したところである。国道への案内板設置には沖縄ブロック標識適正化委員会へ著名地点追加登録申請が必要となっており、整備に向けた手続等を推進していく。また、町道等への案内板、誘導板の設置は町全体の整備計画を策定し、多言語対応で地域内の通行利便性や安全性にも配慮した整備を進めていく。

使用について。

崎浜議員 自衛隊の軍用地



境界を示すフェンスと杭

崎浜議員 軍用地と民有地の境界は、仲間一町長 軍用地と民有地の境界については、防衛局の設置するフェンス及び杭で境界が表示されている。

米軍基地



崎浜 秀幸 議員

町長 自衛隊によるキャンプ・ハンセンの使用については、平成19年度より実施され、平成28年度は114日の訓練が行われている。崎浜議員 この訓練内容は、金城司企画課長 陸上自衛隊の訓練は、戦闘訓練、射撃訓練、不発弾の処理などの訓練が成されている。崎浜議員 町に対して演習の告知はされているのか。企画課長 訓練の内容自体は一般演習という形で報告されている。金武町、宜野座、恩納村、それぞれの地域で月に何回演習されているという報告がある。

崎浜議員 オスプレイの訓練について。

町長 オスプレイについてはキャンプ・ハンセン及び金武ブルービーチ訓練場内のヘリパットにおいて離着陸訓練等が昼夜を問わずに行われていることを確認している。

崎浜議員 現在このオスプレイが訓練を行う場合、金武町では34カ所の発着地帯があるが、その使用協定、使用のルート、そういったものが決められているのか。企画課長 航空機のルートは、基本的には米軍基地の上空で訓練を行うということになっている。崎浜議員 米軍再編による影響について。町長 嘉手納飛行場以南の土地の返還に係る統合計画において、キャンプ瑞慶覧の施設技術南部地区の倉庫地区からコミュニティサービス庁舎が、また、キャンプ瑞慶覧のインダストリアル・コリドー地区及び牧港補給地区から倉庫棟が移設される計画となっているが、現在米側において移設する施設等の配置及び基地整備の基本計画であるマスタープランが策定中である。

児童・生徒の学習状況

崎浜議員 金武町の学力対策について。

比嘉貴一 教育長

町では、児童・生徒の学力向上のため電子黒板の導入、特別支援教育支援員の配置、少人数学級編制、英語教育特例校事業、学びの基礎力アドバイザー事業を行っている。

今年度は全教員の授業公開、管理職の授業参観など、授業改善に取り組んでいる。崎浜議員 学習環境づくりについて。

教育長

町では、安全・安心な学習環境を整備するため、これまで耐震基準を満たした安全な学校施設の整備に取り組んできた。平成21年度には金武幼稚園、金武保育所一体型施設、平成22年度に金武小学校管理棟・特別教室棟、平成23年度に嘉芸小学校管理棟・特別教室棟、平成27年度に中

川小学校体育館、平成28年度に中川小学校普通教室棟と中川幼稚園を建設した。

崎浜議員 いじめ対策について。

教育長

いじめ対策については、学校現場において日ごろから児童・生徒の様子に注意を払いつつ、早期発見と早期解決に努めているところである。

崎浜議員 貧困状況にある子どもたちの実態について。

教育長

教育委員会では、小学1年生の保護者、小学5年生の児童とその保護者、中学2年生の生徒とその保護者を対象に貧困の実態に関する調査を実施した。この調査は、校長会、教頭会で調査の趣旨説明と協力依頼をしており、9月中旬に調査票を配布し、10月6日までの回収する計画である。回収後は集計作業を行い、結果を分析し、貧困対策の施策に反映していく。

事業の進捗状況報告



大城 一之 議員

大城議員 平成22年、第4

回の定例会で質問し、前町長から答弁で「予算がついた事業の進捗状況が町民に目でわかるようなシステムを作成する」は現在どうなっているか。

仲間一町長 現在、事業の

進捗状況を町民に知らせるシステムとして、金武町ホームページで建設課などの建設工事実施状況一覧表を公表している。その内容は、工事名、事業区分、請負業者、工期、実施状況及び発注予定状況などの工程表となっている。引き続き建設工事実施状況一覧表に加え、新

規の主な事業についてもホームページ等を活用して公表をしていく。

大城議員 議員が質疑、質

問をし、町民のためにお願いしたことが、今どうなっているのか町民や議員が把握できるようなシステムを作ってほしいと要望して、当時の総務課長の答弁で町の広報紙で、その月の分だけでも公表することを検討していきたいと言っていた。そこに関して検討はどうなっているのか。

町長 広報誌のページ数

を増やせば有効に使える。担当者は仕事の負担は増えるが、各課が内容等を広報担当に記事を作って提供する方法ができれば、負担なく町民に知らせることはできる。ページ増は予算の関係もあるが調整して10月号、12月号あたりで6月、9月定例議会が出た内容も含めて、広報誌で通知する。

行き止まり道路の改善

大城議員 現在の行き止まり

り道路の現状は。

町長 現在の行き止まり

道路については、町内で3カ所確認している。

大城議員 行き止まり道路

解消に向けてのこれまでの取り組みは。またこれからの整備計画は。

町長 用地に係る相続関

係や用地買収に理解が得られないこと、また、勾配が急であり通行の安全性が図れないなど、さまざまな要因により行き止まり道路になっている状況である。今後もし引き続き地権者との調整や、既存の道路網を考慮しながら行き止まり道路の解消に向けて取り組んでいく。

大城議員 3つの行き止まり

り道路だが、その中でも安心・安全な生活を脅かすような道路、救急車や消防車

の緊急車両が入っていった時にも困るとか、火災の時にも困るとかという道路は、早急にやらなければいけない道路はあるのか。

宝正徳建設課長 町道金

武142号線については幅員が4・5メートルぐらいで一旦入ると、Uターンするのに人の土地を活用しないといけないような部分がある。そういったことで町道金武142号線は早急な対策も必要なのかと考えている。

大城議員 町道金武142

号線に対して町民からの要望というのは町に出ているのか。

建設課長 以前は文書であ

った。最近その工事が入って現場を確認したところ、周辺地主の方も含めて、用地に関しては我々も協力したいという声があるので、その関係者と協議をしながら、進めてく考えである。

犬の予防注射

大城議員 狂犬病予防注射

は登録している飼い主に案内のがきが届くが、各区分で行っているのか。曜日や時間帯はどういった形で今行われているのか。

町民からの要望で平日昼間の時間帯だと難しいとの声がある。健康診断も昼間だが、行けない方には改めて土日に行っている。行政サービスを考えて、受ける人が増えるような施策も考えるべきと思うが。

仲田博住民生活課長

年に何回ぐらい必要性があるか沖縄県の保健福祉事務所と調整をして、少なくとも年に2回、休日にできるのか、もしできれば町独自で動物病院と提携をして町内でその接種が可能なのか、検討していきたい。

平成28年度 各会計の決算を認定

平成29年第3回定例会が9月13日（水）に招集され、9月28日（木）までの16日間の会期で開催した。

定例会では、補正予算（一般会計、4つの特別会計及び水道事業会計）や金武町課設置条例等の一部改正、金武町立幼保連携型認定こども園設置条例の制定、工事請負契約の締結に関する議案、農業委員の任命に関する同意などを審議し、全ての議案を原案のとおり可決した。

また、平成28年度の各会計の決算については、議長を除く議員15名で構成する決算審査特別委員会において審議を行った。各会計の決算状況と議決の結果は下記のとおり。

平成28年度各会計の決算

一般会計歳入歳出決算の認定について

歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
101億4,517万5,696円	98億9,250万7,308円	2億5,266万8,388円

国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
22億3,280万9,519円	21億8,787万8,507円	4,493万1,012円

有線放送電話事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
2,680万434円	2,470万5,072円	209万5,362円

後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
1億4,057万3,123円	1億4,037万2,159円	20万964円

下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
5億7,730万5,640円	5億6,207万6,718円	1,522万8,922円

水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

水道事業収益：4億1,537万9,101円	水道事業費用：4億42万7,043円
資本的収入：8,329万円	資本的支出：2億887万6,027円
※資本的収入額が資本的支出に不足する額1億2,558万6,027円は、減債積立基金、建設改良積立金、損益勘定留保資金で補填した。	

各会計の決算に関する議決結果

議 案 名	議決結果
平成28年度金武町一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定 (全会一致)
平成28年度金武町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 (全会一致)
平成28年度金武町有線放送電話事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 (全会一致)
平成28年度金武町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 (全会一致)
平成28年度金武町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 (全会一致)
平成28年度金武町水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決 及び認定 (全会一致)

その他の議案の議決結果

議 案 名 と 主 な 内 容	議決結果
平成29年度金武町一般会計補正予算(第2号) 歳入歳出それぞれ2億5,773万3,000円を追加し、補正後の予算総額を89億8,945万7,000円とするもの。補正の主なものは、歳入では地方交付税の1億4,806万4,000円、特定防衛施設調整交付金の5,445万3,000円の増。歳出では農業振興費4,046万4,000円の増、体育施設費の3,408万2,000円の増、道路新設改良費の7,912万7,000円の増である。	原案可決 (賛成多数)
平成29年度金武町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) 歳入歳出それぞれ185万2,000円を追加し、補正後の予算総額を23億9,835万3,000円とするもの。補正の主なものは、歳入では一般会計繰入金159万3,000円の増。歳出では一般管理費の185万2,000円の増である。	原案可決 (全会一致)
平成29年度金武町有線放送電話事業特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ127万5,000円追加し、補正後の予算総額を2,814万9,000円とするもの。補正の主なものは、歳入では他会計繰入金127万5,000円の増。歳出では施設管理費の127万5,000円の増である。	原案可決 (全会一致)
平成29年度金武町下水道事業特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ36万2,000円を追加し、補正後の予算総額を3億885万6,000円とするもの。補正の主なものは、並里・金武地区農業集落排水事業建設工事に係る工事請負費と委託料の予算組替え及び土地鑑定料の増である。	原案可決 (全会一致)
金武町固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例について 沖縄振興特別措置法第9条等の地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令の一部改正に伴い、金武町固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正するもの。	原案可決 (全会一致)
金武町課設置条例等の一部を改正する条例について 国や県からの権限委譲などで増加した保健福祉課の業務を分離し、これまで以上に就学前児童の連続した保育、幼児教育の充実と女性の就労機会の増加など多様化する保護者のニーズに対応し、保護者支援の充実を図るとともに子育て支援に特化する目的で「こども支援課」を設置、また、ギンバル訓練場跡地利用の一定の整備を収めることができたことから、今後は民間の活力を活かした跡地利用を促進するため、商工観光及び企業誘致、雇用対策の充実を図る目的で「商工観光課」を設置するため、関連する条例の一部を改正するもの。	原案可決 (賛成多数)
金武町立幼保連携型認定こども園設置条例の制定について 幼児期から就学前児童の切れ目のない連続した教育・保育の充実を図ることや、保育所に通っていない子どもの家庭に対する子育て相談の実施や親子交流の場の提供など、すべての子育て家庭を対象に様々な子育て支援の充実を図るため、金武町立幼保連携型認定こども園設置条例の制定について提案するもの。	原案可決 (全会一致)

議案名と主な内容	議決結果
工事請負契約締結について 件名：伊芸地区畑地かんがい施設整備工事（貯水池） 契約の相手方：株式会社 仲間組 契約金額：7,911 万円	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について 件名：町道屋嘉 8 0 号線整備工事 契約の相手方：株式会社 ホカマ 契約金額：6,239 万 7,000 円	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について 件名：金武児童公園整備工事（1 工区） 契約の相手方：株式会社 ホカマ 契約金額：5,808 万 7,800 円	原案可決 (全会一致)
金武町農業委員会委員の任命について 金武町農業委員会委員の任期が平成29年9月30日をもって満了することに伴い、嘉数昇氏を金武町農業委員会委員に任命したいため同意を求めるもの。	原案可決 (全会一致)
金武町農業委員会委員の任命について 金武町農業委員会委員の任期が平成29年9月30日をもって満了することに伴い、仲間堅一郎氏を金武町農業委員会委員に任命したいため同意を求めるもの。	原案可決 (全会一致)
金武町農業委員会委員の任命について 金武町農業委員会委員の任期が平成29年9月30日をもって満了することに伴い、與那嶺理氏を金武町農業委員会委員に任命したいため同意を求めるもの。	原案可決 (全会一致)
金武町農業委員会委員の任命について 金武町農業委員会委員の任期が平成29年9月30日をもって満了することに伴い、伊藝裕美子氏を金武町農業委員会委員に任命したいため同意を求めるもの。	原案可決 (全会一致)
金武町農業委員会委員の任命について 金武町農業委員会委員の任期が平成29年9月30日をもって満了することに伴い、小橋川晃氏を金武町農業委員会委員に任命したいため同意を求めるもの。	原案可決 (全会一致)
金武町農業委員会委員の任命について 金武町農業委員会委員の任期が平成29年9月30日をもって満了することに伴い、山里哲夫氏を金武町農業委員会委員に任命したいため同意を求めるもの。	原案可決 (全会一致)

※農業委員の任命については、これまで選挙による選出と首長による任命によって委員が決まっていたが、「農業委員会等に関する法律」の改正により全ての委員が議会の同意を経た上で首長が直接任命することになったことから6人について同意を求める議案が提出された。

議案名と主な内容	議決結果
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて 人権擁護委員の候補者として、山里均氏を法務大臣へ推薦するため意見を求めるもの。	適任 (全会一致)
議員派遣に関する決議	可決 (全会一致)
金武湾港海岸(ギンバル地区)港湾海岸環境整備事業に伴う町内業者の優先使用に関する要請決議 ※詳細は下記のとおり	可決 (全会一致)
金武町ふるさとづくり整備事業に関わる「ギンバル海岸整備関連事業」における県並びに町発注工事の地元業者優先発注について	みなし採択

金武湾港海岸（ギンバル地区）港湾海岸環境整備事業に伴う 町内業者の優先使用に関する要請決議

金武町では、平成23年に返還された米軍ギンバル訓練場跡地において「金武町ふるさとづくり整備事業」を実施し、医療施設や野球場、サッカー場等の整備を進めてきた。同地ではホテル建設の着工が予定されており、本町の地域活性化の起爆剤となる事を期待している。

その訓練場跡地では沖縄県による金武湾港海岸（ギンバル地区）港湾海岸環境整備事業がいよいよ実施予定となっている。

町内の商工業者はこれまで金武火力発電所建設工事、金武ダム建設工事、国道329号金武バイパス整備工事等、町内で実施された大型事業で多くの実績をあげ、本町の経済発展や雇用効果に貢献してきた。

海岸環境整備事業においても同様の成果をあげるものと思慮される。

よって、金武町議会は町内業者の優先使用を強く要請する。

以上、決議する。

平成29年9月28日

あて先 沖縄県知事

平成29年 第2回（10月）臨時会

平成29年第4回臨時会が10月19日（木）に招集され、1日間の会期で開催された。

臨時議会では、金武地区消防衛生組合議会議員の選挙や一般会計補正予算に関する議案を審議した。

また、議員提案として、米軍ヘリによる不時着炎上事故に対する意見書、抗議決議が提出され、採決の結果全会一致となった。

議決結果は下記のとおり。

議 案 名 と 主 な 内 容	議決結果
金武地区消防衛生組合議会議員の選挙 仲間昌信氏が公職選挙法第90条の規定により、平成29年10月10日付で議員を辞職したことに伴い、同氏が選出されていた金武地区消防衛生組合議会議員の選挙を行う。選挙の方法については、地方自治法第118条第2項の規定により指名推薦で行い、吉野潤議員を指名するもの。	当 選
専決処分の承認について（平成29年度金武町一般会計補正予算（第3号）） 平成29年9月28日に衆議院が解散したことに伴い、平成29年10月10日公示、同月22日に総選挙が行われることが確定した。選挙費用に係る補正予算を早急に調製する必要がある、平成29年度金武町一般会計補正予算第3号について、特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないと認め、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分を行い、議会へ報告し、承認を求めるもの。	承 認 (全会一致)
米軍ヘリによる不時着炎上事故に対する意見書 ※詳細は19ページ	可 決 (全会一致)
米軍ヘリによる不時着炎上事故に対する抗議決議 ※詳細は19ページ	可 決 (全会一致)

金武地区消防衛生組合議会について

- 組合の議会の議員の定数は6名とし、その選出区分は次のとおり。
金武町 2人 恩納村 2人 宜野座村 2人
- 組合議員は、関係町村の議会の議員のうちから選出する。
- 組合議員の任期は、関係町村の議会議員の任期とする。
ただし、補欠議員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 組合議員が欠けたときは、直ちに補欠選挙を行う。

※金武地区消防衛生組合同規約より抜粋

米軍ヘリによる不時着炎上事故に対する意見書・抗議決議

10月11日午後5時20分頃、普天間飛行場所属の米軍CH53E大型輸送ヘリが東村高江の民間地域に不時着、炎上する事故が発生した。事故現場は民家に隣接した牧草地で、一步間違えば住民多数の生命を奪いかねない大惨事になるところであった。

米軍の航空機による事故はこれまで幾度となく発生しており、最近では昨年12月に名護市安部沿岸でMV22オスプレイが事故を起こしたほか、今年8月には普天間飛行場所属のMV22オスプレイが、オーストラリアで墜落している。今回の炎上事故は、久米島、奄美、大分、新石垣の各空港に米軍の航空機が緊急着陸するトラブルが短期間のうちに続いている中で発生しており、米軍の安全管理体制に疑問を抱かざるを得ない。

米軍は、キャンプ・ハンセンを抱える本町において昼夜を問わずヘリやオスプレイによる訓練を実施している。炎上事故が発生した当日には、キャンプ・ハンセン内で山火事が起こり、CH53ヘリによる消火が行われていた。今回の炎上事故は、頻繁に頭上を米軍航空機が飛行する町民に対して強い衝撃と不安を与えたものであり、断じて容認できない。

よって、金武町議会は町民の生命及び財産を守る立場から、米軍及び関係当局に対し断固抗議するとともに、下記事項について速やかに実現されるよう強く要請し、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

記

- 1 事故原因を究明し、公表すること。
- 1 民間地域上空での飛行訓練を中止すること。
- 1 安全が確認されるまで同型機の運用を停止すること。
- 1 日米地位協定を抜本的に改定すること。

平成29年10月19日

沖縄県金武町議会

意見書宛先

内閣総理大臣 防衛大臣 外務大臣 沖縄及び北方対策担当大臣
外務省沖縄特命全権大使 沖縄防衛局長

(抗議決議宛先)

駐日米国大使 在日米軍司令官 在沖米国総領事
在日米軍沖縄地域調整官

町村議会議員・事務局研修会

10月12日(木)、糸満市のNBCサムシング・フォー西崎で約400名を対象に沖縄県町村議会議長会主催の町村議会議員・事務局研修会が開催された。研修会では沖縄県知事公室長の謝花喜一郎氏が「沖縄県の日米地位協定の見直しに関する要請について」と題して講演を行った。同氏は前日に発生した東村高江での米軍ヘリ炎上事故に対する県の対応を紹介するとともにその事故を例に日米地位協定の問題点を解説し、県が政府に要望している協定の見直しについて説明した。

また、新潟県立大学准教授の田口一博氏が「議会力のアップについて」と題して講演した。その中で議会が住民の要望・期待を把握し応えているかを検証し、議会がチームとして町の普遍的・共通の利益を求めていくことが重要であると述べた。

研修会後の懇親会では県内各地から集まった町村議員の間で情報交換をした。



謝花喜一郎氏



田口一博氏

傍聴案内

議会を傍聴してみませんか。12月定例会は、12月12日(火)開会を予定しております。日程が決まり次第、有線放送やホームページでお知らせいたします。詳細については、議会事務局へお問い合わせください。

金武町議会事務局

有線電話：8-2292 NTT：098-968-2292